

インターネット使用中に突然表示される『偽セキュリティ警告画面』にご注意!

お問い合わせ 消費生活センター(平日)午前9時~午後4時 ☎57-8143

インターネット使用中に突然、「ウイルスに感染している」などの警告画面が表示され、不安になり慌てて警告画面に従いセキュリティソフトやサポートを契約したが、実際には偽の警告画面と思われ、不要な契約をしてしまったという相談が寄せられています。

【事例】

パソコンを操作していたところ、突然フリーズした。しばらくすると画面に「修復するには5,999円かかる。以下に連絡するように」というメッセージが表示され、慌てて記載の電話番号にかけた。「今すぐ対処しないと危険。60,000円を支払わないと使えない」といわれたため、何度か電話でやりとりをするうちにクレジットカード情報を伝えてしまった。



アドバイス

警告画面の表示や警告音が鳴っても、警告画面に従って連絡やセキュリティソフトの契約をしないようにしましょう。

- 警告画面が偽かどうかの判断がつかない、警告画面が消えない、セキュリティソフトなどを契約しインストールしてしまった場合は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の情報セキュリティ安心相談窓口(☎03-5978-7509)に相談してください。
- 被害に遭わないためには、「偽警告」の手口を知ることと決して電話をかけないことが重要です。
- 不安に感じたり、トラブルになったりした場合は、消費生活センターに相談してください。

首都圏情報コーナー

アイランダー2018開催

11月17日、18日の2日間、池袋サンシャインシティを会場に、26回目となる全国の島々が集まる祭典「アイランダー2018」が開催され、202の島々が紹介されました。

佐渡ブースでは民謡踊り、鬼太鼓などの衣装を纏った新趣向で来場者に佐渡の魅力をアピールし、金塊つかみ取り、鬼太鼓のお面、おけさ笠も人気で記念撮影をするなど長い行列ができていました。足を止めた来場者と観光の相談、移住関連の情報提供など交流があちこちで生まれていました。

また、特設ステージでは、郷土芸能からトークセッションまでさまざまな出し物で賑わい、佐渡からは民謡踊りと鬼太鼓が参加しました。民謡踊りの初日は「若波会」、2日目は「おけさ友愛会」が相川音頭や佐渡おけさを披露し、喝采をいただきました。鬼太鼓は窪田青年団(佐和田地区)が登場し、勇壮な舞で観客を魅了しました。

入場者数は2日間で13,000人という例年同様の盛り上がりで、来場者アンケートでは佐渡は竹島・硫黄島・黒島に次ぐ第2位になり、例年上位のポジションをキープしました。

(文責:佐渡市東京事務所 小路 徹)



金塊つかみ取りで盛り上がる会場

編集後記

佐渡総合病院のロビーに掲げられている大きな書に書かれた「凜」の文字。この書は、年始めの書き初めで書かれたもので、佐渡総合病院のスタッフの皆さんが襟を正して業務に望んでほしいとの思いが込められているそうです。

少し時期が遅くなってしまいましたが、私の一文字は「改」にしようと思います。まもなく元号も改められますし、日常が少しでもより良いものになるよう、少しずつできることから改める努力をすることを今年の目標にしたいと思います。

(K.O)